

2023 年度 教養区分試験 最終合格 HR

これから何をすべきか

1. アドバンテージを活かそう

	2023 年							2024 年								
月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	～	4
国家総合職		秋試験		(冬の官庁訪問)			春試験		(夏の官庁訪問)					内定式		入省
月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	～	4
民間就活		冬のイン ターン					説明会 エントリー				採用試験			内定式		入社

①民間企業への就活を頑張る。

②官庁訪問に向けて、内定力を高める活動をする。

③学業に専念する。

2. ①②について

①民間企業のマインドを知る：問題や関心の領域を探ろう。

- ・民間企業が社会に対して、どのようなアプローチをしようとしているのか？
- ・民間企業を巻き込んで政策を立案することの面白さ・可能性とは何か？
- ・民間企業の利害がどこから生じてくるのか？

民間企業でもできること・民間企業では困難なことを探る。

②官庁の当事者に近づく

- ・業務説明会に、観客ではなく、当事者として出席する。⇒当事者意識に迫る。
- ・政策を自分の中で消化して、「自分がそのタスクを担ったらどのような意義を感じ

るのか」「その政策の先に何があるのか」を考える。

- ・考えたことを、個別相談会でぶつけて、**当事者からのフィードバックをもらう。**

以上を言語化して、明確に他者に伝えることができるようにする。

参考

<資料>

- ・国立公文書館「公文書にみる日本のあゆみ」

<http://www.archives.go.jp/ayumi/>

<図書>

①政治・行政

- ・人事院公務員研修所「若手行政官への推薦図書（令和2年度版）」
https://www.jinji.go.jp/kensyusyo/books/books2_top.html
- ・ユージン・バーダック「政策立案の技法」（東洋経済新報社）
- ・谷口博文「政策イノベーション」（幻冬舎）
- ・近藤哲朗ほか「政策図解」（日経 BP）
- ・大山耕輔（監修）ほか「公共政策の歴史と理論」（ミネルヴァ書房）
- ・久米郁男「原因を推論する」（有斐閣）
- ・嶋田博子「職業としての官僚」（岩波新書）
- ・石原信雄「石原信雄回顧談 - 官僚の矜持と苦節 -」（ぎょうせい）
- ・服部正也「ルワンダ中央銀行総裁日記（増補版）」（中公新書）

②経済・社会・歴史

- ・猪木武徳「経済社会の学び方」（中公新書）
- ・猪木武徳「戦後世界経済史」（中公新書）
- ・入江昭「歴史を学ぶということ」（講談社現代新書）
- ・入江昭「歴史家が見る現代世界」（講談社現代新書）
- ・三谷太一郎「日本の近代とは何であったか」（岩波新書）
- ・松本健一ほか「日本の近代（通史編）」（全8巻）（中公文庫）
- ・戸部良一ほか「シリーズ日本の近代」（中公文庫）
- ・小川浩之ほか「国際政治史」（有斐閣ストゥディア）
- ・齊藤誠「教養としてのグローバル経済」（有斐閣）
- ・マーク・フローベ「社会厚生の測り方」（日本評論社）
- ・小塩隆士「「幸せ」の決まり方：主観的厚生と経済学」（日経 BP）

◎統計

- ・内閣府「今週の指標」

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/shihyo/index.html>

- ・総務省統計局「統計力向上サイト データサイエンス・スクール」

<http://www.stat.go.jp/dss/index.html>